

第73回 秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会
第67回 秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会

ミキプルーンスーパーカレッジバレー2020

東京大会開催要項

主 催 公益財団法人日本バレーボール協会
一般財団法人全日本大学バレーボール連盟
朝 日 新 聞 社
日 刊 ス ポ ー ツ 新 聞 社
株式会社ジェイ・スポーツ
特別協賛 三基商事株式会社
後 援 ス ポ ー ツ 庁 (予定)
公益財団法人東京都体育協会 (予定)
公益財団法人東京都バレーボール協会 (予定)
千葉県バレーボール協会
流山市教育委員会

主 管 大 会 実 行 委 員 会

I、大会日程

- 1、大会期間 2020年11月30日(月)～12月6日(日)
- 2、入場料 土日のみ観客を入れる。チーム関係者チケット 1000円
各チーム100名まで入れられることとする。(チームに所属している選手・スタッフは100名に含まれない。)また、ソーシャルディスタンスを保つために席と席の間隔を空けること。(大田区体育館より座席指定あり)
- 3、開会・閉会式 開会式・閉会式は行わないこととする。
- 4、レフリークリニック
代表者会議 ①レフリークリニック (後日掲載)
②代表者会議 (後日掲載)
③緊急時対応マニュアルについて (後日掲載)
※①②③はZOOMにて行う。URLはホームページを確認する。
④前売りパンフレット、記念品は11月30日または12月1日に(大会1、2日目)に各会場受付にて受け取ること。
- 5、大会会場
11月30日(月) 大田区総合体育館【男女会場】
12月1日(火) 大田区総合体育館、港区スポーツセンター、荒川総合スポーツセンター
キッコーマンアリーナ
2日(水) 大田区総合体育館、港区スポーツセンター、荒川総合スポーツセンター、
キッコーマンアリーナ
3日(木) 大田区総合体育館【女子メイン会場】港区スポーツセンター
荒川総合スポーツセンター【男子メイン会場】
4日(金) 大田区総合体育館【女子メイン会場】荒川総合スポーツセンター【男子メイン会場】

5日(土) 大田区総合体育館【男女3位決定戦会場】

6日(日) 大田区総合体育館【男女決勝戦会場】

6、表彰 表彰式は各試合終了後、最低限の人数でコート表彰を行う。

7、新型コロナウイルス感染症への対策

- (1) 新型コロナウイルス感染症への対策について
公益財団法人日本バレーボール協会による「バレーボール競技にかかわる大会等再開時のガイドライン」、全日本大学バレーボール連盟「運営ガイドライン」を遵守すること
- (2) 新型コロナウイルス感染症対策として大会関係者に以下の取組を定める
○大学スポーツ協会による「ONE TAP SPORTS」の『体調チェック機能』により各チーム体調の管理をして大会に参加すること。詳しくは別紙に記載。
○参加するにあたり、厚生労働省が推奨する新型コロナウイルス接触アプリ「COCOA」をインストールしておくこと。
※ 状況によって難しい場合は、大会開催2週間前から健康チェックシートにて体調管理を行う。
- (3) 大会期間中、コロナウイルス感染者が確認された場合、保健所の指示に従う。また濃厚接触者を確認し、感染者と濃厚接触者については出場停止とする。登録メンバーにて試合続行不可能の場合は棄権とする。濃厚接触者が他チームにも確認された場合、大会を中止することもある。
- (4) 原則として、試合設定時刻の1時間半前までは会場に入れないこととする。
また、自チームの試合が終了後、可能な限り速やかに退館すること。
- (5) 大会2週間前から大会終了後2週間の期間に新型コロナウイルスの感染を疑う症状または発症した場合は保健所に確認の上、濃厚接触者の有無等について学連に速やかに報告すること。また、経過観察について、以下の専用窓口にて随時報告する事。
○ 感染症対策窓口：health@juvf.jp

II、大会参加資格

1、チーム参加資格

スーパーカレッジバレー2020に参加できるのは、地区学連の割り当てられた数36チームとする。なお下記の条件を満たしていること。

- (1) 2020年度公益財団法人日本バレーボール協会登録規定により大学として登録されその在学生在で構成されたチームであること。
- (2) 2020年度全日本大学バレーボール連盟加盟校であること。
- (3) JVA個人登録(MRS)の登録者であること。
- (4) 地区学連に割り割り当てられた枠数 合計数36チーム
- (5) 各地区学連参加枠は以下の通りとする。

2. 各地区学連割り当て数

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防の為、出場チームを36チームに変更し実施する

| | 男子 (計 36 チーム) | 女子 (計 36 チーム) |
|-------|---------------|---------------|
| | 学連割り当て数 | 学連割り当て数 |
| 北海道学連 | 2 チーム | 2 チーム |
| 東北学連 | 3 チーム | 2 チーム |
| 北信越学連 | 2 チーム | 2 チーム |
| 関東学連 | 13 チーム | 12 チーム |
| 東海学連 | 3 チーム | 4 チーム |
| 関西学連 | 5 チーム | 6 チーム |
| 中国学連 | 3 チーム | 3 チーム |
| 四国学連 | 1 チーム | 1 チーム |
| 九州学連 | 4 チーム | 4 チーム |

III、競技・審判の注意事項

1、競技規則

- (1) 2020年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則による。
 - ① スタッフ、選手の試合途中参加はその都度できる。
 - ② スタッフ、選手が遅れる場合は事前に、審判・学連委員申し出ること。
 - a. 監督の場合は、ゲームキャプテンは監督が来たことをラリー間に伝える。審判が確認した時点で権利を行使することができる。監督はセット間もしくは、試合終了後に記録用紙にサインする。
 - b. プレーヤーの試合途中参加は、その都度できる。遅れる場合は事前に、審判・学連委員に申し出ること。

2、競技方法 全試合5セットマッチとする。

3、試合使用球

- (1) 今大会は、男子がミカサ製カラーボール(V300W)、女子がモルテン製カラーボール(V5M5000)を使用する。
- (2) 全試合原則5ボールシステムで試合を行う。(会場によって異なる場合もある)

4、競技日程

| | | | |
|-----|-----------|---------|------|
| 第1日 | 11月30日(月) | トーナメント戦 | 1回戦 |
| 第2日 | 12月1日(火) | トーナメント戦 | 2回戦 |
| 第3日 | 12月2日(水) | トーナメント戦 | 3回戦 |
| 第4日 | 12月3日(木) | トーナメント戦 | 準々決勝 |
| 第5日 | 12月4日(金) | トーナメント戦 | 準決勝 |
| 第6日 | 12月5日(土) | 3位決定戦 | |
| 第7日 | 12月6日(日) | 決勝 | |

5、会場施設開場時間

11月30日(月)～12月6日(日) チーム受付 09:00(1試合目のチームのみ)

6、コロナウイルス

感染症対策

公益財団法人日本バレーボール協会による「バレーボール競技にかかわる大会等再開のガイドライン」と学連の「運営ガイドライン」を遵守すること。

7、選手・スタッフ 登録

- (1) (公財)日本バレーボール協会、及び(一財)全日本大学バレーボール連盟に有効に登録されたチームで、本大会にエントリーされていること。
- (2) 選手のエントリーは18名以内とする。
- (3) 1チームのスタッフは部長1名(必須)、監督1名、コーチ1名トレーナー1名、マネージャー1名(但し、部長は(一財)全日本大学バレーボール連盟に登録された者、マネージャーは当該大学の学生であること。エントリー申込受付後は、原則としてどのような理由があっても、エントリーの変更は一切認めないので注意すること。
- (4) 正規の競技者とリベロプレーヤー(以後リベロとする)の人数割りについて13名以上、選手登録するときは2名のリベロを登録しなければならない。
- (5) 当日はエントリーする19名(選手14名+ベンチスタッフ5名)とする。
※コロナウイルス感染症対策とし、チーム関係者(選手・スタッフ・アナリスト等)は会場に入場できるのは30人までとする。また、他会場に行く際は、各会場2人までとする。(会場によって異なる場合もある。)

8、各種資格

- (1) 今年度はチーム内に指導者有資格者(コーチ1、コーチ2、コーチ3、コーチ4)がいない場合でも、**スタッフが全員ベンチに入る事を認める。**
- (2) トレーナーとしてベンチに入る場合は、医師、看護師、および医療免許資格を有する者とする。但し当分の間、科学研究委員会が定めた、日本赤十字社、各消防署等の講習会に参加し認定書を交付された者とする。
講習会の延期・中止等によりエントリー届締切日に証明書の発行が間に合わない場合は、大会初戦当日、本部席にトレーナー資格証明書(資格証明書のコピーを付けたもの)を提出すること。また、今年度は2020年に有効期限が切れてしまっている証明書でもトレーナー資格として認める事とする。(2019年以前は認めない。)
- (3) トレーナーとしてベンチに入る者は、(一財)全日本大学バレーボール連盟が発行し資格取得証明書を試合中提示していること。

9、競技者選手・スタッフ メンバー提出

- (1) 試合当日のコンポジションシートの提出について
 - ① 第1試合は、開始設定時刻の30分前までに、本部受付へ提出すること。
 - ② 第2試合以降は、会場入場後またはフロア開放後から試合開始30分前までに。
※入場についてはI.7(4)に記載。
 - ③ 構成メンバー表提出後の変更は認めない。
 - ④ 部長以外(監督・コーチ・トレーナー・マネージャー)のスタッフを変更する場合
 - a. 特段の理由がある時は、学連担当者に申し出ること。
 - b. スタッフの追加登録を定められた期限までに完了している場合に限り認める。
- (2) 各セット開始前に提出されたライン・アップ・シートの変更は、副審が記録員に手渡した後は認めない。
- (3) 連盟に正規に登録のスタッフが、男女同一大学の試合のベンチ入りスタッフを兼任することを認める。ただし、男女同一大学の試合時間が重複した場合は男女どちらかのチームにエントリーを行うこと。但し交代者が登録者であること。

10、試合開始時刻

原則として、**試合設定時刻の1時間半前までは会場に入れないこととする。**

- (1) 11月30日は第1試合開始は**13時**、第2試合開始は**16時**とする。
- (2) 12月1日は第1試合開始は**10時**、第2試合開始は**13時**、第3試合開始は**16時**とする。(要検討10月末に決定)
- (3) 12月2日・12月3日・12月4日は第1試合開始は11時、第2試合開始は14時からとする。(2試合目は前の試合に伴い、変更する可能性があります。)

(4) 12月5日の女子3位決定戦開始は11時、男子3位決定戦開始は14時とする。

(5) 12月6日の女子決勝開始は11時、男子決勝開始は14時とする。

※ 試合開始時間が変則的な為、各チーム必ず確認すること。

(6) 試合開始はすべて全コート一斉に設定時刻に開始する。

(7) 公式練習時間について、**12月1日**に限りプロトコールは第1試合開始設定時刻より**11分前**に開始する。第2試合以降は、前の試合の換気・消毒後、学連の指示でコートに入り、試合設定時刻の**15分前**にプロトコールを開始する。

12月2日以降については、第1試合、第2試合共に、試合設定時刻の**11分前**にプロトコールを開始する。

但し、前の試合が時間を押した場合は学連より開始時刻を伝達する。

(8) 大会期間中、フロアでのアップを行うのは試合前のチームのみとする。

(9) チームが正当な理由なしに定められた時間までに競技場にあられない場合は、不戦敗を宣告される。

11、公式練習及び 試合時のベンチ

(1) 公式練習の時間は12月1日のみ第1試合1チーム3分ずつ、第2試合目以降は1チーム5分ずつとする。

その他の日程については、第1試合第2試合を共に1チーム3分ずつとする。

(2) 公式練習には、スタッフとして認められた部長、監督、コーチ、トレーナー、マネージャーと競技者14名のみが参加することができる。クイック・モッパー2名については、ボールキーパーとしての参加のみを認める。ただし、ユニフォーム・スタッフウェア以外の統一された服装で参加すること。

(3) 公式練習前のウォーミングアップのネット及びボールの使用を認める。ただし、隣接するコートにボールが入らないようにボールキーパー(最大3名)を配置すること。

(4) 公式練習中は、隣接するコートにボールが入らないように(ボールキーパー、クイック・モッパーを含め、最大3名)を配置すること。ただしボールキーパーは、他のコートへのボールの侵入を防ぐ目的で配置するものであり、ボール拾い等を含め、公式練習に参加することは一切してはならない。

(5) ボールカゴ及び部旗は公式練習後に競技エリア外へ出すこと。(当該コートのフリーゾーンの端に置くこと。)部旗は床に倒して置くこと。

(6) ベンチには飲料水、救急用具等の必需品以外を持ち込まないこと。

(7) **感染症対策として、タオル・ボトル・アイシングバッグは共用を禁止する。**

12、ユニフォーム

(1) 本大会のユニフォーム等の広告は一財)全日本大学バレーボール連盟ユニフォーム規程によって規制されると共に、(公財)日本バレーボール協会公認企業以外のロゴの露出を禁止される。試合中の競技用品は(ユニフォーム、サポーター、ベンチスタッフウェア、シューズは公認企業となる。)

(2) ソックスについては長さとしを統一し、刺繍(ロゴマーク等)のワンポイントまで認める。(但し、公認企業以外のメーカーのロゴ等が露出するソックスを着用する場合、安全に十分配慮し、マスキングを施すこと)。尚、くるぶしの見えるような短いソックスを履いてのゲーム参加は認めない。

(3) アンダーウオーマー、スパッツ及びコルセットについてはユニフォームの下に隠れるように着用し、外部に露出しないように注意すること。

(4) チームキャプテンは長さ8cm、幅2cmのユニフォームと異なった色のキャプテンマークを腹部の番号の下に明瞭に付けること。

(5) リベロの着用するユニフォームは、チームの他の競技者と明確に識別できる対照的な色であること。リベロと他の競技者のユニフォームの色が紛らわしい場合は、リベロ・ビブスを着用させることもある。

(6) リベロと他の競技者とユニフォームの色が共に2色以上を用いる場合、それぞれが同色を用いないように注意すること。

- (7) 本大会の使用企業名は下記の通りです。
 どの企業の製品か十分注意すること。公認企業以外のロゴは、安全に十分注意して隠しマスキングして使用することができる。
- ①ユニフォーム公認企業（アシックス、デサント、ミズノ、ファイテン、アディダス、アンダーアーマー、ヴィクトリー、ミレグラ、アルスト、スクアドラ、トレスジャパン、ムンター、スポルディング、チャンピオン、オリエンタルウィッチーズ）
 - ②サポーター公認企業（アシックス、デサント、ミズノ、D&M、ザムスト、ファイテン、アルペン）
 - ③シューズは公認企業（アシックス、デサント、ミズノ、アディダス、アンダーアーマー）

13、リベロ・プレーヤーの取扱いについて

- (1) リベロは、チームキャプテンにもゲームキャプテンにもなれない。
- (2) リベロが負傷や病気、退場、失格等によりプレーの続行が出来なくなった時は監督または監督が不在の場合はゲームキャプテンが、いかなる理由であってもプレーできなくなったことを宣言することができる。
 リベロがプレーできなくなったと宣言されたときには監督（監督不在の場合はゲームキャプテン）が、主審の許可を得てベンチ入りしているプレーヤーをリベロとして再指名することができる。（リベロと交代してベンチに戻っている競技者を除いて、ベンチにいる競技者であれば誰でも良い）。
- (3) リベロと再指名されたプレーヤーは、その試合終了までリベロとしての登録となり元のプレーヤーには戻れない。
- (4) 2人のリベロが記録用紙に記入されているチームは、そのうちの1人がプレーできなくなっても、リベロ1人で試合をすることができる。再指名は認められないが、もう一人のリベロも試合でプレーの続行ができなくなった場合は、他の選手を試合終了までリベロとして再指名することができる。
- (5) 再指名されたリベロが、プレーが出来なくなった場合は、さらにリベロを再指名することができる。
- (6) 監督がチームキャプテンをリベロとして再指名したときは、この要求を認めるが、チームキャプテンはリーダーとしてのすべての権利を放棄しなければならない。
- (7) 監督が副審に、口頭で「リベロの再指名」を要求する（ハンド・シグナルは示さない）。そのとき、リベロと再指名される競技者は、リベロ・リプレースメント・ゾーンに、ナンバーパドルを使用する場合は、ナンバーパドルを持って準備をして立っていないなければならない。（再指名された競技者はビブスを着用するか、リベロと同じユニフォームを着る）
 しかしユニフォーム番号は登録者自身の登録番号と同じものを着用する。
- ① リベロが、コート上にいるときでも、再指名をすることができる。
 セット間にリベロの再指名をしたいとき、監督はリベロを再指名することを副審に伝える。
- ② リベロとして再指名された選手は、その試合を通してリベロとして試合に出場し、プレーすることができる。再指名されたプレーヤーは、その試合終了までもとのプレーヤーに戻ることはできない。正規にチームに登録されていたリベロはその試合終了までプレーヤーとしては戻れない。

14、ワイピング行為について

- (1) クイック・モップは当該チームから2名まで配置することができる。服装は選手と異なる統一された物であること。また、迅速に行うこと。
- (2) クイック・モップがない時は、コート上の選手が行うのでワイピング用の布を保持すること。
- (3) 試合開始前、タイム・アウト及びセット間におけるワイピングはベンチの控え選手

または、クイック・モッパーが必ず行うこと。

- (4) クイック・モッパーが応援及びチームのマネージメント行為（ドリンク、アイシング作り等）をすることは一切禁止とする。それらの行為はチームに対しての警告となる。
- (5) 感染症対策としてクイック・モッパーはスタッフのベンチと反対側で待機すること。

15、競技全般の不法行為の取扱い

- (1) 2020年度(公財)日本バレーボール協会6人制競技規則による。
- (2) (一財)全日本大学バレーボール連盟及び(公財)日本バレーボール協会に登録されていない選手、スタッフ・選手が試合に出場したときは以下の様に取り扱う。
 - ① 試合中に発覚した場合 → 6人制競技規則7.3.5.4に従って処分する。
 - ② 試合終了後に発覚した場合 → 没収試合とする。
- (3) 競技違反については、処分基準詳細に従い、規律委員会で協議し決定する。
- (4) 不法な行為については、同一人が同一試合での繰り返し行為は累進的な制裁を受ける。
 - ① 「非スポーツマン的行為」及び「不法な行為」については、そのプレーヤー・スタッフに対し、試合全体と通して罰則が与えられる。
原則として次の手順を踏む、行為の内容によっては、レッドカードもあり得る。
(例)
 - ・警告：ステージ1 口頭での警告
 - ・警告：ステージ2 警告 イエローカードでの警告
 - ・ペナルティ：レッドカードを示し、相手に1点与える
 - ・退場：イエロー、レッドカードを同時に示す（そのセットは終了までペナルティ・エリアに座る）
 - ・失格：イエロー、レッドカードを別々に示す（競技コントロールエリアから退去する）
 - ② 「攻撃的行為」については、1回目で失格とする。

16、試合前の待機中のチーム

- (1) 試合終了後の挨拶が終了し、換気・消毒作業後、学連員の指示があるまでアリーナ外に待機すること。
- (2) 部旗を持ち大声を出しながらコートを走り回る等の行為を禁止する。

17、チームスタッフ

- (1) チームスタッフは、当該大学生以外の場合は、(一財)全日本大学バレーボール連盟に登録されていれば、部長以外の全ての役職を行うことができる。(但し、マネージャーは当該大学生のみとする。)
- (2) 部長は当該大学の教職員でなければならない。
- (3) 当該大学の学生で、(公財)日本バレーボール協会(一財)全日本大学バレーボール連盟に登録されていれば、部長以外の役職を行うことができる。
- (4) 部長・監督は原則として季節に応じた正装(ジャケット必須)とする。ただし、ネクタイ不要。コーチ・トレーナー・マネージャーの服装については、原則として統一された服装のものを着用すること。短パン、ハーフパンツ等は原則として許可されないが、気温が高く熱中症等が懸念される場合は実行委員会の判断により緩和することができる。
- (5) 部長・監督がトレーニングウェアを着用する場合は、スタッフ全員が統一されたものを着用すること。ランニングシャツ等は不可とする。
- (6) 試合中の中断の要求が出来るのは監督とゲームキャプテンだけである。
- (7) 監督が試合中に妨害あるいは遅延を行わない限り、自チームベンチ前のアタックラインの延長線から競技コントロールエリアのコーナーにあるウォームアップエリアまでのフリーゾーン内で立ちながらも歩きながらも指示を出すことができる。

- (8) 審判員の判定に対するアピールや抗議、や監督自身がライン判定をする行為を禁止する。この行為は制裁の対象となる。
- (9) 試合中、相手チームに対して、選手を牽制するような言動は認められない。(相手チーム選手の番号や名前を特定する行為)このような行為は制裁の対象となる。
- (10) 部長、監督、コーチ、トレーナー、マネージャーは役員章を付けなければベンチに入ることができない。
- (11) 試合中はトレーナー認定確認書を本部受付で受理して身に付けること。

18、応援について

応援を行う際は、マスクを着用しできるだけ間隔をあけて行うこと。
大声での応援は禁止とする。

19、学生補助役員

- (1) 学生補助役員は14名(記録員2名、ラインジャッジ4名、点示2名、ボール・リトリバー6名)で行う。
※会場によって配置人数が異なる場合もある。
その際マスクの着用をする、手袋をする、ボールをこまめにアルコール除菌するなど感染症対策を行うこと。
- (2) 第1試合の補助員については第3試合の両チームが以下のように分担すること。第3試合が無い場合は、第1試合は第2試合の両チームが行う。
 - ① 組合せ表上側のチームが6名で行う。(ラインジャッジ4名、スコアラー2名)
 - ② 組合せ表下側のチームが8名で行う。(点示2名、ボール・リトリバー6名)
- (3) プロトコール開始10分前までに記録席に集合すること。
- (4) 第2試合以降の学生補助役員は以下のように行う。
 - ① 人数が不足する場合は、対戦した相手チームに協力を依頼すること。
 - ② チームで統一された服装(ユニフォーム可)で行い、任務を遂行すること。
 - ③ 前試合終了直後の担当となるので速やかに記録席に集合すること。
- (5) ラインジャッジは審判員の一員として正確なジャッジをすること。
- (6) 点示員は試合を観戦することなく正確な得点表示をすること。
- (7) ボール・リトリバーは、ラリー中は中腰姿勢を維持すること。座り込んだり・注意散漫になったりしないと。ボールをサーバーに渡す時以外は投げずに、迅速に床に転がし試合の運営に当ること。サーバーにボールを渡すリトリバーはインプレイ中ボールを保持すること。

20、棄権の取扱い

- (1) 規律委員会には競技違反、規則・規定違反があった場合はただちに委員会を開催し処分基準に従って処分を決定する。
- (2) 2020年度(公財)人日本バレーボール協会6人制競技規則、2020全日本インカレ開催要項・競技上の注意事項違反、応援者の悪質な行為、各施設の利用規則違反及び学生としてのマナー欠如等に対して、競技違反等に関する規律委員会に置いて、処罰の対象となるので十分注意すること。

IV、会場使用上の注意

- (1) 横断幕等を貼る際には各会場の注意事項に従うこと。
- (2) フロアでの撮影は禁止とする。フラッシュ撮影はプレーの妨げとなるため禁止とする。企業席・報道席を設ける為、企業関係者・報道関係者は該当する場所で観覧すること。
- (3) 各会場の電源使用は、会場ごとに異なるため、注意事項を確認すること。
無断で電源使用をしているチームが発覚した場合、メディアごと本部にて回収する。
チームデータの為のビデオの充電は全会場本部学連委員に申し出ること。
- (4) 本大会で施設を利用する際、施設内は禁煙。喫煙については各施設の利用規則を厳守すること。

- (5) 貴重品等の盗難に関して、当連盟では一切の責任を負わないものとする。
各チームともに荷物の管理は徹底すること。
※忘れ物・紛失物に関しましては、各会場受付にてお預かりします。(大会開催中のみ) 恐れ入りますが各会場受付までご連絡下さい。
貴重品以外の忘れ物・遺失物は大会終了時に処分する。
- (6) 勝ち上がったチームの荷物の置き場は、各会場にて学連委員に確認すること。
翌日の試合のために荷物を置いて帰る場合は、学連委員の指示に従い、他のチームのことも考慮して、最小限のスペースに留まるように協力し、消毒して帰ること。
チームの勝手な判断による荷物の放置は、他の目的での施設利用者の迷惑となるため、一切禁止とする。また、チームの荷物の紛失に関しても連盟は一切の責任を負わないこととする。
- (7) 会場で出たごみは各自（各チーム）責任をもって持ち帰ること。会場や駅など会場周辺のごみ箱は使用しないこと。(特に弁当やゴミの回収に関しては、各チームで責任をもって持ち帰ること。)
また、鼻水、唾液などが付いたごみや使用済みのテーピングなどはビニール袋に入れ密閉して縛り、回収する人はマスクや手袋を着用すること。作業後は必ず石鹸と流水で手を洗い、手指を消毒すること。

V、その他

- (1) 試合当日災害が発生した場合は、学連担当者及び会場運営管理担当者の注意事項（誘導）に従って適切な行動を行うこと。
- (2) 本大会前にエントリー選手は健康診断を受けること。選手の健康管理については、チーム及び個人の責任としてこれを受け止め、充分留意すること。
- (3) 大会の期間中に選手が負傷した場合は、第一義的にはトレーナーが行うこと。応急手当補助は行うが、あくまでも医師等に見せるまでの応急手当である。以後の責任は負いません。
- (4) 練習会場は用意しません。
- (5) 宿泊・弁当については、各チームで手配してください。
- (6) チームで手配した弁当やゴミの回収に関しては、各チームで責任をもって受け渡しを行う事。会場にのゴミを放置したまま帰る等の行為は禁止です。

VI、大会申込方法

1、大会エントリー 申込期間

- 1、エントリー届申し込み **10月6日(火)～10月20日(火) 17:00 必着**
出場チーム決定が例年より遅くなる学連が多い為、出場の可能性があるチームは全チーム提出すること。

(原則としてどのような理由があっても締切期日までに間に合わない場合は参加を一切認めないので注意すること。)

- ①エントリーする選手(18名以内)・スタッフの(一財)全日本大学バレーボール連盟追加登録の締切りは10月6日(火)とし期日までに間に合わない場合は追加登録を一切認めないので注意してください。
- ②B方式での開催に伴い、各チームの大会への出場可否は、所属する各地区学連に直接ご確認ください。
- 2、大会申し込み振り込み期限は**11月16日(月)**下記の振り込み先にお問い合わせ致します。

2、エントリー

変更申込期間 10月20日(火)～11月16日(月) 17:00 必着

(締切り期日を過ぎた場合は変更を認めないので注意すること)

- ①申込受付後のエントリー選手の変更は一切認めないが、怪我や病気等での変更のみ認められる。その際、医師から診断を受け、怪我や病気等で診断書の提出により、最大2名まで変更できる
- ②診断書は11月17日(日)までに全日本学連事務所必着(郵送)

3、大会申込

必要書類

申し込み書類提出にあたり、開催要項・ガイドラインを熟読し了承の上で書類を提出してください。

- (1) 今大会は、申し込みを全てメールによるデータの送受信で行います。
申し込み用アドレス：男子 m_vgakuren_alljapan@yahoo.co.jp
：女子 f_vgakuren_alljapan@yahoo.co.jp
- (2) 件名は以下の通りに明記してください。
エントリー提出時 「〇〇大学 男子/女子 エントリー」
同封する書類、ウェア・シューズ・サポーター確認書・トレーナー資格証明書
大会申し込み提出時「〇〇大学 男子/女子 申し込み」と入力してください。
同封する書類、予約プログラム申し込み用紙
- (3) 各申請用紙は(一財)全日本大学バレーボール連盟・全日本インカレのページからダウンロードしてください。
※大会申し込み・予約プログラム申し込み以外は **10月20日締め切り**です。
間に合わない際は、メールにてその旨をお伝えください。
- (4) 振込について **振込期限は11月16日(月)**
 - ① 受付申し込み用紙(参加料30,000円の振り込みコピーを添付)
 - ② 予約プログラム申し込み用紙(800円×予約部数の振り込みコピーを添付)
 - ③ 参加料と予約プログラムは別々に振込んでください。振込む際、必ず大学名で振込み、大学名の前には男子ならば“M”、女子なら“F”を入力してください。
プログラムは前売価格で800円です。プログラムは11月30日または12月1日(大会1日目、2日目)に、会場受付にてお渡しします。
 - ④ ①・②はPDF形式でメールに添付してください。
※受け付け申し込み用紙・予約プログラム申し込み用紙の2点に関しては、出場が決定してから振込を行い、速やかに送付してください。(出場確定前に振り込みをした後、結果的に出場不可となってしまった場合でも、一度振り込まれたお金は返金致しかねます。)
- (5) エントリー用紙 Excel 形式について
注意事項に従いデータを入力し、Excel データのまま送付すること。
※ エントリー届と振込用紙の締切り期日が異なる為、注意すること
- (6) 写真について
エントリー18名+スタッフ5名の集合写真
 - ①不鮮明、ふざけた写真は撮り直しとする。
 - ②選手、スタッフの顔がはっきり見えるように整列して撮影すること。
 - ③選手・スタッフは統一された服装で撮影すること。ポーズは禁止とする。
 - ④写真はスマホで撮らずJPEG(写真の保存形式)で送ること。
- (7) ウェア・シューズ・サポーター確認書について必要事項を記載し送付すること。
- (8) 受付の返信通知は、(一財)全日本学連が受け取ってから確認ができ次第メールにて返信通知を致します。返信通知が遅い場合には、最終ページの連絡先にお問い合わせ

してください。

- (9) 各地区学連のリーグ日程の都合上、申込締切期日10月20日(火)17時までに諸事情により申込ができないチーム(北海道学連、北信越学連、東北学連、東海学連(女子)、四国学連に所属するチーム)は、該当地区学連の理事長を通して全日本インカレ事務局に連絡をください。

4. 参加料

プログラム振込先

三菱UFJ銀行 神田駅前支店(店番101)
預金種別 普通預金
口座番号 1070339
一般財団法人全日本大学バレーボール連盟
理事長 高野和弘
※一度振り込まれたお金は返金いたしません。

5. 抽 選 会

日 時: 11月15日(日) (各地区学連のリーグ戦の進行状況により変更の可能性あり。)

抽選会は全日本学連委員で行う。

抽選会の結果は速やかに全日本学連のホームページに掲載する。

【本大会に関する問い合わせ先】

一般財団法人全日本大学バレーボール連盟

〒101-0035

東京都千代田区神田紺屋町46 風月堂ビル405号室

T E L : 03-5244-4804 (18:00~21:00)

F A X : 03-5244-4805

E-mail : info@juvf.jp (上記時間外はこちらにメールを下さい。)

感染症対策の為、現在はメールでのご対応をしております。